



ななつかの風～

畜産技術センターニュース

発行事務局
 ● 広島県立総合技術研究所
 畜産技術センター技術支援部
 〒727-0023
 庄原市七塚町584番地
 TEL 0824-74-0331
 FAX 0824-74-1586

● 平成26年度の研究課題と内容概略

平成26年度実施研究課題はつぎのとおりです。
 (平成26年7月15日現在)



課題名	種別	年度	内容概略
画期的WCS用稲「たちすずか」の特性を活かした微細断収穫調製給与体系の開発実証	競争的資金研究	H25～27	飼料イネ「たちすずか」の圃場からの効率的運搬、貯蔵を行うための最適切断長(6～29mm)を明らかにし、飼料特性の評価を通じ、生産への影響を乳牛、肥育牛で調査する。
九州における飼料生産組織、TMRセンター、子牛育成センターが連携する地域分業化大規模肉用牛繁殖経営の実証	競争的資金研究	H25～27	急速に普及が進んでいる高消化性飼料イネ「たちすずか」ロールベールの水分計測に関して、簡易水分測定機器の測定精度と作業性の向上にかかる技術開発を行う。
難培養性ホモ型発酵乳酸菌を用いた発酵飼料の好気的変敗及びカビ防止技術の開発	競争的資金研究	H26～28	自給粗飼料の好気的変敗とカビ発生の抑制について、新たに見出した難培養性ホモ発酵型乳酸菌を用いた新規微生物製剤の効果実証と給与試験を飼料イネをターゲットに行う。
「たちすずか」TMR調製・保存・給与技術の成果移転	県単成果移転事業	H26	平成25年度畜産飼料供給体制整備事業で新たに整備されたTMR(混合飼料)センターに対して、県内産粗飼料である「たちすずか」WCSの利用によるTMRの設計、調製、給与等の技術指導を行う。
特殊LED照明が県内多くの産業に波及するための研究	戦略開発研究	H25～27	LED照明による生産性(乳量、成長)向上に関する研究開発を行う
ダイレクト移植の受胎率を向上させる新たな技術開発	開発研究	H26～28	ダイレクト移植可能な受精卵のガラス化保存法と移植器具を開発し、簡便・容易なガラス化胚移植技術を開発する。
ミオグロビン含量を指標とした牛肉色の遺伝子関連領域の特定	競争的資金研究	H26	優れた肉色を備えた和牛集団の造成のため、和牛肉の肉色に関与するミオグロビン遺伝子情報の関連領域を特定する。

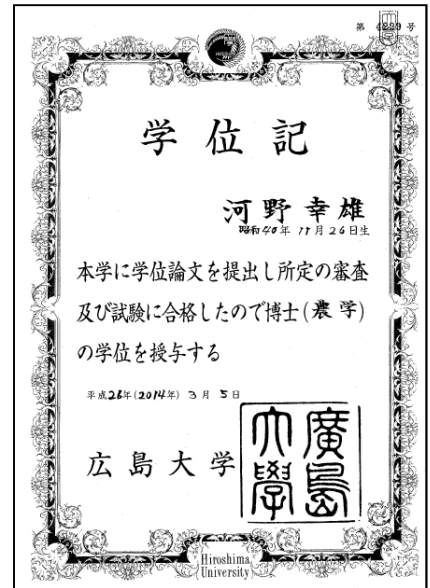
● 学位取得！

平成26年3月に、当センターの河野幸雄副部長が博士号（広島大学）を取得しました。

博士論文の課題名は、「極短穂型飼料用イネの栄養特性と給与技術に関する研究」です。

この研究は、平成22～24年度の重点開発研究で実施した「濃厚飼料価格高騰に対する自給粗飼料の多収・多給技術の開発」で得られた成果を基本にした内容です。

内容は、極短穂型飼料用イネ品種「たちすずか」が、従来品種の子実多収型飼料用イネ「クサノホシ」と比較して、優れた栽培特性や、栄養価・飼料特性を持つこと示し、さらに、TMR（混合飼料）による乳牛の泌乳成績改善、肥育牛の増体や肉質成績改善の効果を明らかにしたものです。



● 畜産研究功労者表彰！

平成26年6月に、当センターの新出昭吾次長兼技術支援部長が、平成26年度全国畜産研究場所長会において、平成25年度畜産研究功労者表彰を受けました。

表彰の主たる内容は、「わが国の飼料自給率向上という喫緊課題に対して、耕畜連携による転作田を活用したイネWCSの栽培から乳牛への給与に至る一連の技術開発に取り組み、繊維の消化性や子実排せつによる養分損失の問題を是正する指標提示や、新品種「たちすずか」の有用性の解明により栽培利用を拡大し、混合飼料（TMR）利用技術の定着とTMRセンター技術支援に寄与した」ことに対して表彰されたものです。



バンカーサイロ開封時の
ホールクロップサイレージ

● バンカーサイロの開封開始！

昨年度の10月に「たちすずか」を微細断で収穫し、バンカーサイロに9か月間貯蔵したサイレージを取り出しています。切断長が短いほど、詰込密度が向上します。カビの発生もほとんど認められず、驚くほど、良質なサイレージが調製できています。

7月下旬まで取り出しを継続し、発酵TMRの調製後、20日貯蔵後、給与試験を実施します。



● 農業技術指導所新任者研修（6/19）

農業技術指導所の新任者研修が、当センターで開催されました。飼料イネの栽培・調製・給与研究、受精卵移植、広島県産和牛の改良・育種研究の最前線について、熱心に研修を受けました。農家へ成果普及する意気込みを喚起する研修であったことを期待します。

編集後記：例年より1日早く梅雨明けしました。2020農林水産業チャレンジプランの見直しも進められ、変革の追求と同時に、総技研の技術開発と技術移転にスピード感を持った連動が求められています。考え、動き、そして、さらに先にというのが我々の使命です・・・SS